

令和 2 年度～令和 5 年度
活動報告書

令和 6 年 3 月



地域防災対策委員会

目次

【1】 活動方針

【2】 事業計画

【3】 主な活動内容（令和2年度～令和5年度）

【4】 オンライン視察研修

【5】 講演会

【6】 視察研修

【1】活動方針

近い将来発生が予想される南海トラフ巨大地震や毎年発生する豪雨等の自然災害に対して、企業はいかに対処すべきか、何が必要なのか、どのようにすれば被害を最小限に抑えることができるのかを当委員会として問い続けていきたい。

昨今のコロナウイルス感染症対策においては、企業・個人の別や規模の大小を問わず等しく訪れた危機管理意識の向上を契機として、地域防災対策活動へもつなげていきたい。

防災対策は自助・共助・公助を基本とするが、当委員会では自助・共助に焦点を当て啓蒙の輪を広げていき、有事の際、一人でも多くの命を救える存在となることを目指す。

【2】事業計画

■令和2年度

1. 防災に関する意識調査
2. 防災講演会の実施
3. 四国内経済同友会とのTV会議システムを活用した意見交換会の実施
4. 防災士養成講座の斡旋
5. その他、活動方針に沿う関連事業の実施

■令和3・4年度

1. 防災に関する意識調査
2. 防災カードの普及促進
3. 防災士養成講座の斡旋
4. WEB会議システム等を利用した防災講演会の実施
5. オンライン視察研修(震災学習)の実施
6. その他、活動方針に沿う関連事業の実施

■令和5年度

1. 防災・BCPに関する意識調査
2. 防災カードの普及促進
3. 防災士養成講座の斡旋
4. 防災講演会の実施
5. 先地域視察研修の実施
6. その他、活動方針に沿う関連事業の実施

【3】主な活動内容（令和2年度～令和5年度）

■令和2年度

- ・9月11日 第1回「地域防災対策委員会」

■令和3年度

- ・8月19日 第1回「地域防災対策委員会」 正・副委員長会
- ・12月3日 南三陸町オンライン視察研修 震災語り部講話・オンライン

■令和4年度

- ・7月13日 第1回「地域防災対策委員会」 正・副委員長会
- ・9月2日 第1回「地域防災対策委員会」

■令和5年度

- ・7月7日 第1回「地域防災対策委員会」 正・副委員長会
- ・8月4日 第1回「地域防災対策委員会」
- ・10月6日 防災講演会

愛媛大学 防災情報研究センター副センター長 二神透様講演

愛媛ダイハツ販売株式会社 代表取締役社長 一色亮佑様講演

・令和5年11月24日～11月25日 東日本大震災 被災地視察研修（宮城県塩釜市・南三陸町）

・防災士養成講座の案内

【4】オンライン視察研修

■南三陸町オンライン視察研修 震災語り部講話・オンライン

日時：令和3年12月3日（金）15:30～17:00

場所：伊予鉄会館5階「クリスタルホール」、オンラインにて参加（Zoom利用）

内容：震災語り部講話（パブリックビューイング開催）

東日本大震災から10年の歳月が経過し、復興は進み、人々の日常も大きく変化している。その10年間で復興の道筋を直接語り部の方から聴講し、現在の南三陸町の様子を視聴できるオンライン講演会・視察会を実施。コロナウイルス感染防止策を講じた会議室でのパブリックビューイング参加方式と、オンラインで参加の併用開催とした。また今回はウィズコロナ時代における従前とは異なる視察方法の一つとして、現地映像のライブ配信も行った。

東日本大震災からの復興

東日本大震災により、南三陸町は死者620人（直接死600人、間接死20人）、建物の全壊3,143戸と甚大な被害を受けた。

今回の語り部は子どもの頃に被災した若者。Zoomを活用し、防災庁舎など被災地を訪ねながら震災の体験を語ってくださった。講話の後には、語り部と直接言葉を交わし、改めて身近に潜む大規模震災のこと、そして災害への備えについて考える機会となった。



学びプラン

南三陸震災語り部講話・オンライン
復興へ懸命に立ち上がるまちの姿を伝える

～新たな生活様式に対応した震災学習プログラム～

“3密”を避けつつも東日本大震災について学んでいただき、また南三陸に住む町民と対話することが出来る学習プログラムを企画いたしました。プログラム名は「震災語り部講話・オンライン」です。その名が示す通りオンラインのビデオ通話システムを介し、語り部から受講者の皆様に東日本大震災の体験談や、現在に至るまでの復興の道のりを伝える講話スタイルのプログラムです。東日本大震災の被災者である語り部と言葉を交わし、改めて身近に潜む大規模災害のこと、更には災害への備えについて思いを巡らせてみませんか？



語り部プログラムが新たな生活様式に対応！！

- ・ 中学、高校の被災地事前学習に
- ・ 多拠点接続で会社、企業研修に
- ・ 家族で大規模災害への備えについて考えるまほう旅行等に

震災語り部講話・オンラインをお勧めいたします！



防災対策庁舎



南三陸町

▶ならではポイント

新しい生活様式を踏襲した学習プログラムです。
現地までの移動が不要且つオンラインを活用したプログラムのため、移動費用を削減しつつ、電話で会話をするように気軽に受講いただけます。
被災地研修旅行の事前学習としてもおすすめです。

コミュニケーション強化
モチベーションアップ
人材育成・学び
ミーティング＆イベント

※掲載写真はイメージです。 ※料体内容・額は季節によって異なる場合がございます。

Copyright (C) 2021 JTB Corp. All rights reserved.

【5】講演会

■地域防災対策委員会 講演会

日時：令和5年10月6日（金）15:30～17:00

会場：ANAクラウンプラザホテル松山本館 4F ルビールーム

講師：愛媛大学 防災情報研究センター副センター長 二神透 様

愛媛ダイハツ販売株式会社 代表取締役社長 一色亮佑様

内容

- ・講師の二神透様による講演会「愛媛県で起こりうる災害への備え」
- ・当委員会一色亮佑副委員長（愛媛ダイハツ販売株式会社 代表取締役社長）より平成30年西日本豪雨災害時における被害状況、災害への備えに関する報告



講演会「愛媛県で起こりうる災害への備え」

1995年の阪神・淡路大震災では、耐震性のない建物が市街地に広がっていたため被害が拡大したと考えられる。そして2011年東日本大震災が死者1万5,000人を超える甚大な被害をもたらしたのは、津波避難が十分ではなかったことが一因として挙げられる。つまり、想定を超える災害に対応できなかったということ。

そして近年、気候変動により雨の降り方が昔と変わってきており、降水量が増加傾向・線状降水帯が多発。また台風の大型化・高潮被害の激甚化が目立つようになった。

中山間地が国土の7割を占め、河川の氾濫域は1割にも上る日本。安全な場所は国土のわずか2割ともいわれている。

そんな災害リスクの高い日本だからこそ、起こりうる被害を正しく予見しイメージすることが大事。

- ① リスクを強度（災害の規模や影響範囲）と頻度（起こりうる発生確率）の関係で捉える
- ② 被害を直接被害（災害による直接的な影響）と間接被害（関連死や長期避難）の両面で捉える

事前対応の重要性



津波



倒壊



火災



豪雨災害

事前の取り組みが大事

例) 釜石の奇跡(防災教育)

- 東日本大震災の津波による釜石市の死者・行方不明者 1000人以上
- 岩手県釜石市の小・中学校に通う全生徒の生存率 99.8%



耐震性のない校舎



新しい校舎は壊れていない

防災と減災の違い

小規模な災害→防災（被害をゼロにする考え）

大規模な災害→減災（被害をゼロに近づけようとする考え）

例えば、津波から命を守るための取り組みとして…

- ・ 100 年に一度の津波には越流を防止する
- ・ 1000 年に一度の最大クラスの津波には早期の高台への避難を行う

対策の足し算による被害の引き算

様々な対策を足し合わせて、少しでも被害をゼロに近づけるようにする。

- 人間の足し算…自助、共助、公助
- 空間の足し算…地域防災計画、地区防災計画
- 手法の足し算…ハード対策、ソフト対策、防災教育
- 時間の足し算…事前、最中、事後の対策

一人ひとりが事前に備えることが大事



豪雨災害に備える

2018 年西日本豪雨災害

死者 全国 14 府県で 227 人 行方不明者 6 人

家屋被害 2万4150棟

愛媛県 死者33人（直接死27人 関連死6人）

愛媛県における土砂災害の現状

□土砂災害が発生した413箇所のうち、316箇所（76%）が土砂災害警戒区域または土砂災害危険箇所が発生している。

□愛媛県の直接死27名のうち、17名（63%）が土砂災害による。

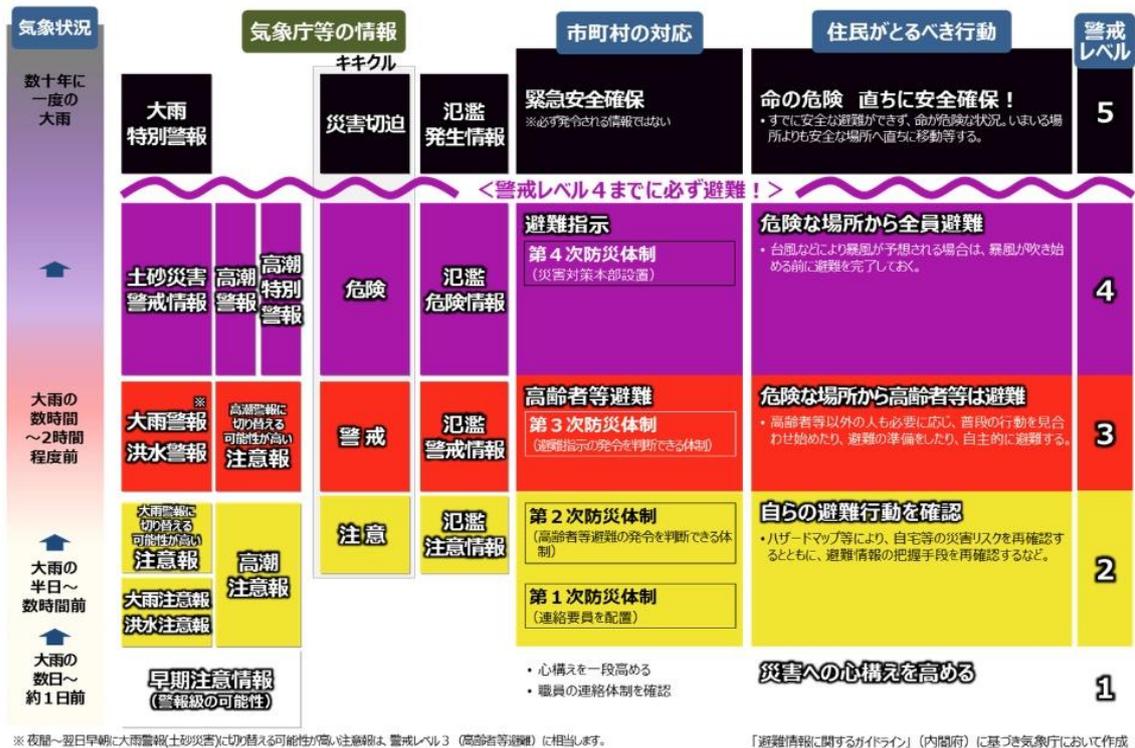
□人的被害（死亡）のあった土砂災害箇所は、1箇所を除き土砂災害警戒区域または土砂災害危険箇所である。

□人的被害（死亡）は土砂災害警戒情報発表中に発生している。

令和3年4月28日

「避難勧告」廃止し「避難指示」に一本化

「避難勧告」を廃止して「避難指示」に一本化するなど、自治体が発表する避難情報の大幅な変更につながる災害対策基本法の改正案が、令和3年4月28日の参議院本会議で可決、成立。



国土交通省 気象庁 HP より <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/newstage.html>

豪雨災害から命・会社を守るための課題

- 災害リスクの高い高齢者施設 避難確保計画
- 災害リスクの高い住民 タイムラインの策定
- 災害時要支援者 個別避難計画の作成
- 流域治水計画 住民・企業が一体となって推進
- 企業 水災害リスクに対応したBCPを作成

□ 災害リスクの高い高齢者施設 避難確保計画

平成元年(1989)、国が実施した「ゴールドプラン」(高齢者保健福祉推進10カ年戦略)により、高齢者施設の建設が進む。

高齢化・過疎化に悩む市町村は、安く周りに民家などが少なく反対運動が少ない山間地・河川の近くに土地を用意した。そのため、平成13年に施行された「土砂災害

防止法」で多くの高齢者施設が「土砂災害警戒区域」に入っていることが判明した。

実際、平成 16 年 9 月新潟・福島豪雨、平成 21 年 7 月中国・九州北部豪雨、平成 28 年 8 月台風 10 号では高齢者施設が被災した。

国は平成 29 年に水防法と土砂災害防止法を改正し、災害で被災の恐れがある高齢者施設や医療機関などに、避難経路や要因などを盛り込んだ「避難確保計画」の策定を義務付けた。

令和 2 年 6 月に都市計画法が改正。令和 4 年から「土砂災害特別警戒区域」に加え、洪水による浸水の「危険区域」を自治体が指定すれば、原則として高齢者施設の新たな建設を禁止することができる。すでにリスクのある場所に建っている施設についても、必要な費用の補助の増額などに支援を広げることで、移転を促す。

□災害リスクの高い住民 タイムラインの策定

マイ・タイムラインとは、住民一人ひとりのタイムライン（防災行動計画）。台風などの接近による大雨によって河川の水位が上昇するときに、自分自身がとる防災行動を時系列的に整理し、住民自ら考え命を守る避難行動のための一助とするもの。

2 作ろう

我が家の防災行動計画

マイ・タイムラインを作ろう!

記入例を参考に、我が家のマイ・タイムラインを作りましょう。
作り終わったマイ・タイムラインは目立つ場所に貼っておきましょう。

記入例 赤字の箇所が記入例です。必要な項目にチェックをつけましょう。

我が家の防災行動計画 **マイ・タイムライン**

防災マップ・ハザードマップでチェック…自宅の危険性は?

洪水	土砂災害	高潮
<input checked="" type="checkbox"/> あり(洪水浸水想定区域) [<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>]川 自宅で想定される [<input type="checkbox"/> 0.5m未満 <input type="checkbox"/> 0.5~3m] 浸水の深さは? [<input checked="" type="checkbox"/> 3~5m <input type="checkbox"/> 5m以上] <input type="checkbox"/> あり(建物の倒壊が想定される区域内) <input type="checkbox"/> なし	<input checked="" type="checkbox"/> あり は砂災害(特別警戒区域内) <input type="checkbox"/> なし	<input checked="" type="checkbox"/> あり(高潮浸水想定区域) 自宅で想定される [<input type="checkbox"/> 0.5m未満 <input type="checkbox"/> 0.5~3m] 浸水の深さは? [<input type="checkbox"/> 3~5m <input type="checkbox"/> 5m以上] <input type="checkbox"/> あり(建物が高波がかかる)

避難行動のチェック…避難する場所は? 移動時間

避難先候補 1 自宅の上階(2階) 3分

避難先候補 2 ○○小学校 10分

家族の状況のチェック…避難するタイミングは?

避難に支援が必要な人(高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦などがいる) → いる → **高齢者等避難** の発令で避難! いる いない
 いない → **避難指示** の発令で避難! いる いない

※その他の避難のタイミング(あれば記入) [前の倒壊から水があふれたとき]

ペットがいる場合はペットを避難させる計画を書いておきましょう

大雨・台風の1~3日前

レベル 1 大雨や台風の前 早期注意情報

我が家の行動計画

- 最新の天気予報をチェック(父)
- 家族の今後の予定や居場所を確認(母)
- 家の周りの風雨で飛ばされそうなものを固定(父)
- 非常持出品(備蓄品など)を確認(兄)
- 親戚や知人に避難させてもらうことを連絡
- その他にも…
- 車のガソリンを入れる
- 常備薬・持病薬を確認
- 犬のケージとえさの準備

レベル 2 大雨注意報 洪水注意報 氾濫注意情報

- 気象情報をチェック(全号)
- 避難する場所、避難経路を再確認(全号)
- 携帯電話・モバイルバッテリーを充電(全号)
- 避難しやすい服装に着替える(全号)
- 大事なものを2階へ移動(父・兄)
- その他にも…
- 容器や浴槽に水を貯める
- ラジオの電池を確認

家族の中で役割分担が決まっている場合は、()で誰がするか書いておきましょう。

避難先候補 3 高齢者等避難 大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報 高潮注意報

- 高齢者等避難** 発令で避難場所に避難開始
- 独自のタイミングで避難(前の倒壊から水があふれたとき)
- テレビやインターネット、携帯電話で避難所の開設状況や雨量・水位などを確認(父)
- 家の戸締りをする(自分)
- 非常持出品を玄関に置く(兄)
- 犬をケージに入れて避難の準備

避難先候補 4 避難指示 土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 高潮警報 高潮特別警報

- 避難指示** 発令で避難場所に避難開始
- 携帯電話などで最新の状況を確認
- 避難したことを親戚に伝える

災害発生

レベル 5 緊急安全確保 命の危険 直ちに安全確保!

すでに災害が発生・切迫して自宅内や近くの建物などで、被害を受けるおそれの少ない

※気象情報や警戒レベルが発表されるタイミングは状況により変わります。計画より早めに避難行動を起こすこと

家族構成や生活環境が変われば、マイ・タイムラインを見直し

防災教育サポート動画

動画をチェック! 松山市では、マイ・タイムラインシートの作り方など、さまざまな防災教育サポート動画を作成しています。

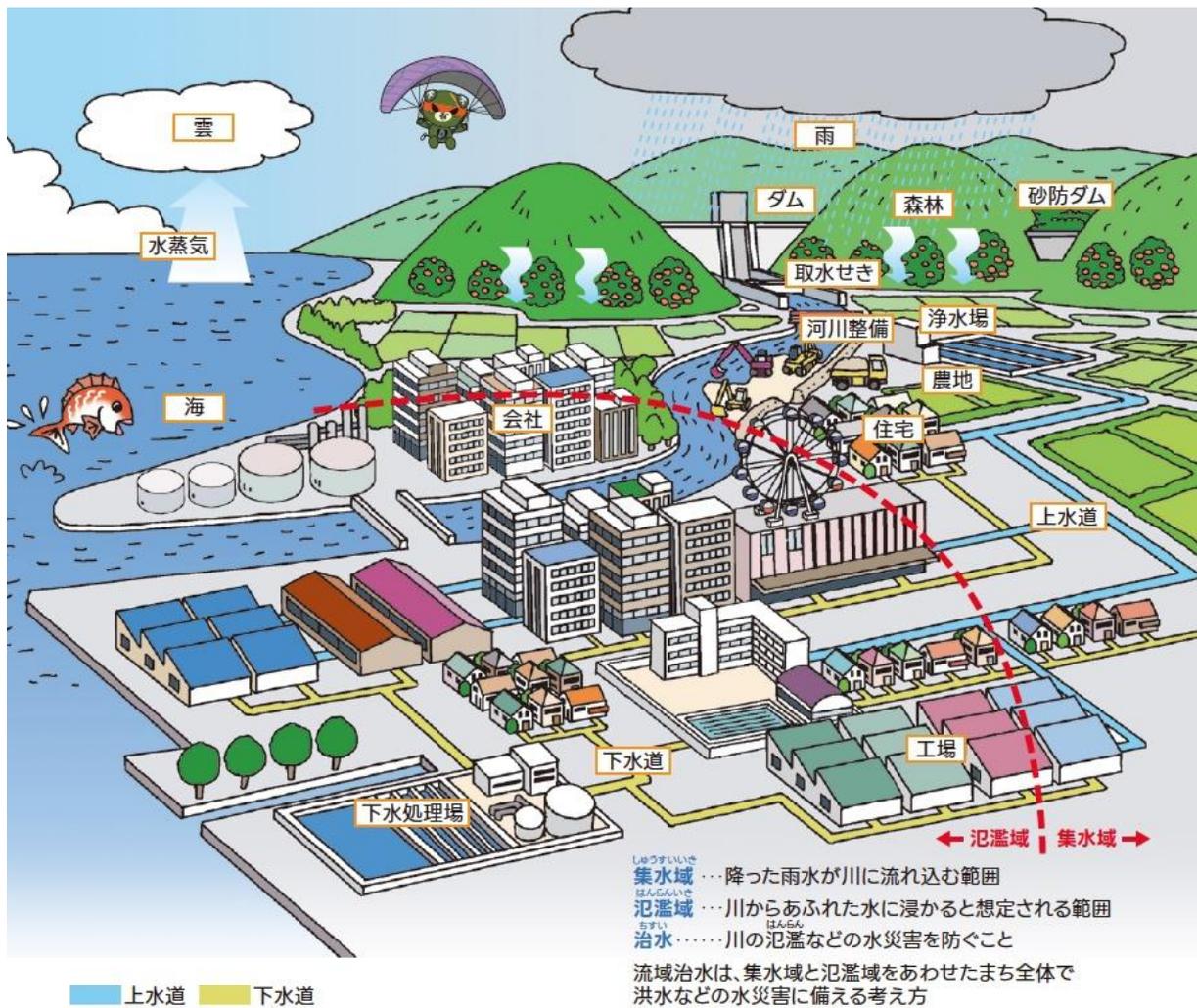
※自宅が安全な場合でも、停電や断水などに備えて、やるべきことを考えておきましょう!

切り離してご使用ください

国土交通省 HP より

<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/tisiki/syozaiti/mytimeline/index.html>

□流域治水計画 住民・企業が一体となって推進



愛媛県 HP「流域治水マニュアル」より <https://www.pref.ehime.jp/page/5041.html>

近年の気候変動の影響により激甚化・頻発化する水災害に備える。

行政が行う治水対策に加え、地域の企業や住民の方々などあらゆる関係者が一体となって水災害の防止・軽減に取り組む。

治水計画を「気候変動による降雨量の増加などを考慮したもの」に見直し、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、地域の特性に応じて以下の対策をハード・ソフト一体で多層的に進める。

- ① 氾濫をできるだけ防ぐ、減らす対策
- ② 被害対象を減少させるための対策
- ③ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

雨の日に庭にバケツを出す



雨の日にお風呂の 水を流さない



家庭用雨水タンクの設置

【効果】

例えば、雨水を貯める取組みを、小学1年生から中学3年生まで各学年100人の家庭(900世帯)と480の企業のある地区で取組むと、小学校のプール1.3杯分の水を貯められる。



流域治水 × 地下水保全 × 節水・漏水対策

庭や空き地をアスファルトなどで覆わない

【効果】

例えば、雨水を地面にしみ込ませる取組みを、小学1年生から中学3年生まで各学年100人の家庭(900世帯)で取組むと川に流れ出る量が約半分になる。

(一つの家の庭が10㎡として、1時間50mmの雨が1時間降った場合)

※1時間50mmの雨=バケツをひっくり返したように降る雨



流域治水 × 森林保全 × 地下水保全

森林を守る(森林保全活動)

【植樹の効果】



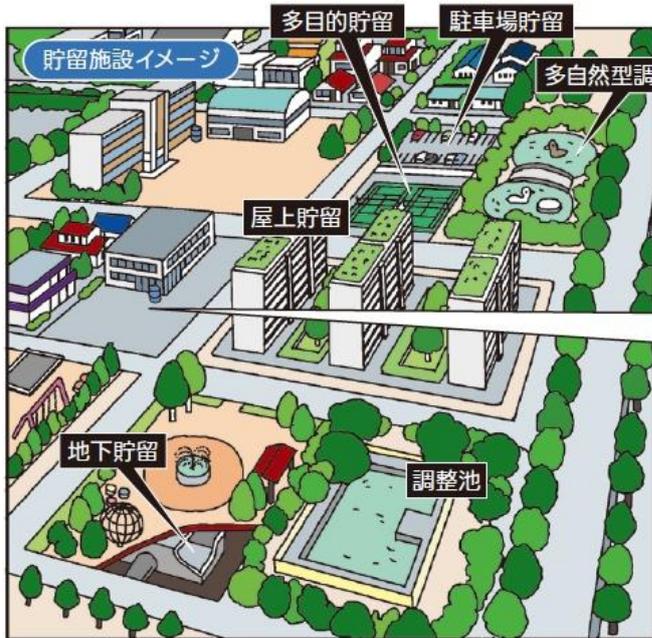
【出典-村井宏・岩崎勇作「林地の水および土壌保全機能に関する研究」1975年より作成】

森林の地面が持つ雨水をしみ込ませる力は、土のままの約3倍、草だけが生えたときの約2倍になります。

【間伐の効果】



間伐とは、森の中が湿みあわないように間をあけるように木を切ることで、その作業により残った木や森の中の草が成長して、地面にしみ込む雨水の量が増えます。



自治体によっては雨水タンクの設置や浄化槽の改造に助成制度があります。



松山市

流域治水 × 雨水利用 × 節水・漏水対策

雨水タンクの設置

【効果】

例えば、雨水を貯める取組みを、480の企業と小学1年生から中学3年生まで各学年100人の家庭(900世帯)のある地区で取組むと、小学校のプール1.3杯分の水を貯められる。

〈企業〉

●雨水タンク 200ℓ × 480 = 96,000ℓ

〈家庭〉

●バケツ 10ℓ × 3個 = 30ℓ (3人家族で1人1個)

●お風呂 200ℓ

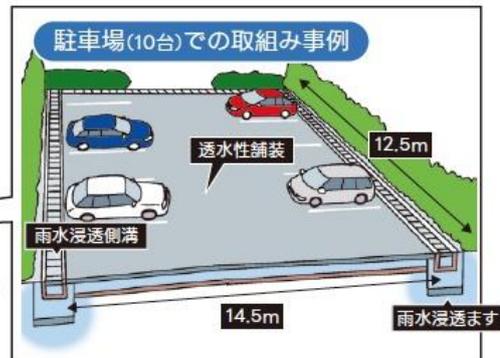
●雨水タンク 200ℓ 1世帯で430ℓ

900世帯で430ℓ × 900 = 387,000ℓ

合計 96,000ℓ + 387,000ℓ = 483,000ℓ ≒ 小学校のプール1.3杯分

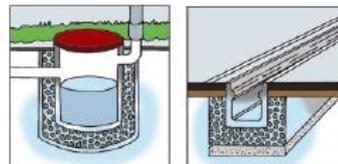


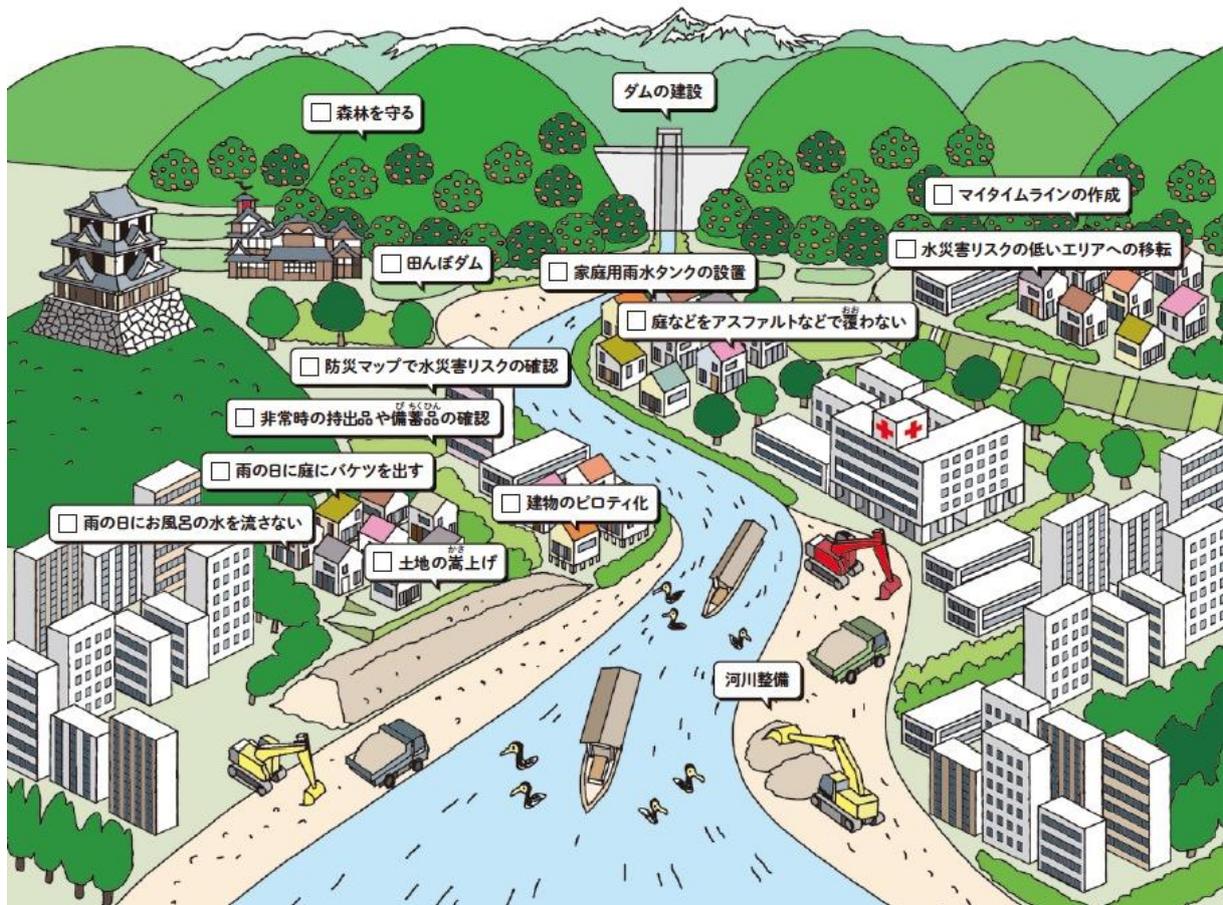
プール1.3杯分の水が川に流れ込むと...あふれるかも



流域治水 × 地下水保全 × 節水・漏水対策

雨水浸透ます・浸透側溝の設置





□企業 水災害リスクに対応した BCP を作成

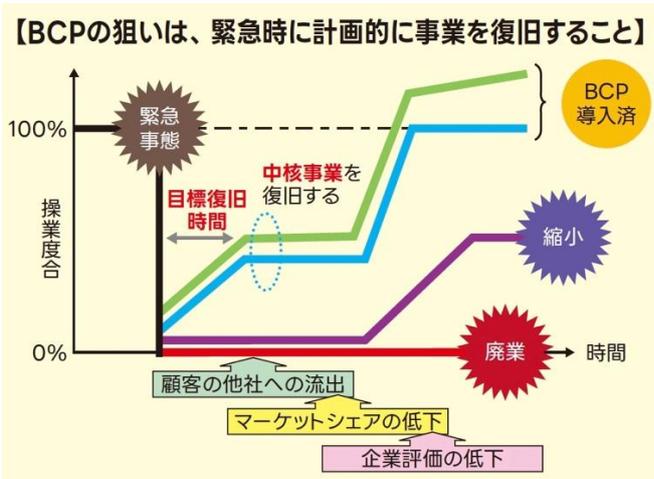
* BCP 策定の必要性

災害等の緊急事態により被害が発生し、企業の業務が停滞することは、企業だけでなく地域経済にも大きな影響を及ぼす。

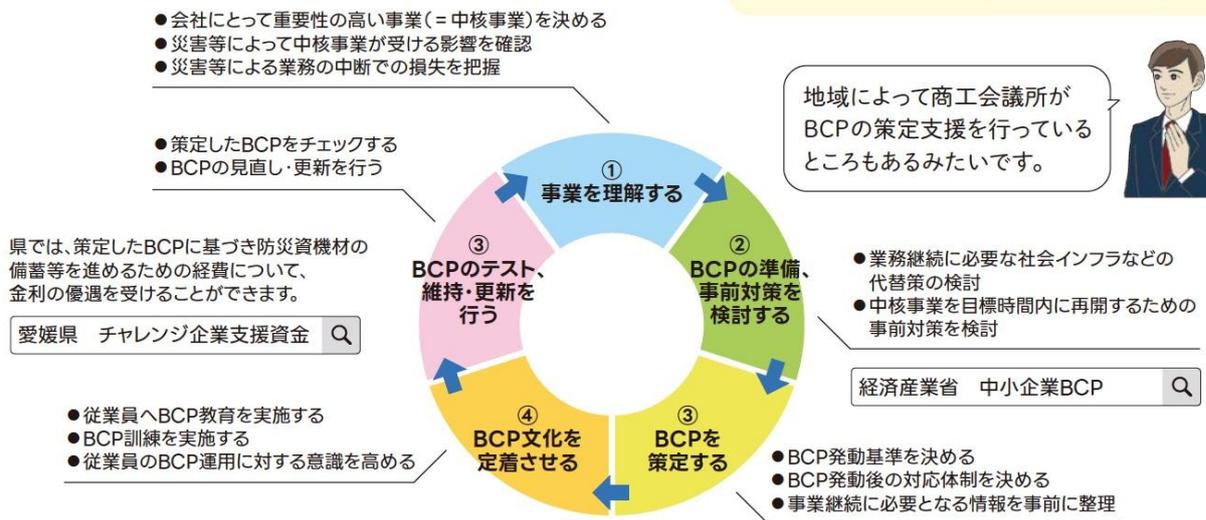
* BCP 策定のメリット

企業は、災害等で被害を受けた場合に、取引先等から業務が中断しないこと、中断してもできるだけ早期に再開することが望まれている。この実現を目指す BCP 策定は、企業を「顧客の他者への流出」や「マーケットシェアの低下」、「企業評価の低下」等から守るメリットがある。

* 水災害 BCP



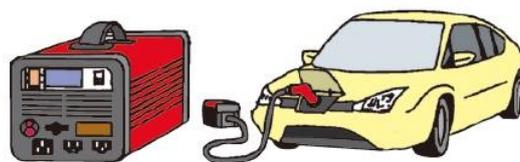
* BCP の活用に向けて



非常用電源の確保

非常用電源として電気自動車に可搬型給電器を搭載し、被災時には電気自動車を電源として利用する事例もあります。

電気自動車の普段使いにおいても、二酸化炭素排出量を削減することができ、非常用電源の確保と環境対策の効果がああります。

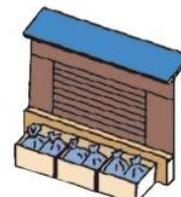


水災害に備えた資機材の準備

直前にできる浸水を防ぐ対策として、土のうと板を使って簡単な止水板の代わりをつくることができます。また、プランターとシートがあれば土のうや止水板の代わりに利用することもできます。



プランターとレジャーシートによる止水



土のうと板による簡易止水板

店舗に見守りカメラの設置

店舗の内外を撮影できるカメラを設置し、災害時における遠隔からの被災状況等の早期把握に利用する事例があります。

普段は防犯カメラとして利用することで、犯罪抑止による地域の安全・安心に寄与することができ、被災状況の早期把握による迅速な初動対応にもつながる効果があります。



避難対策など

いざという時には、円滑に避難することが重要です。そのためには、予め避難計画を作成して、継続して訓練する必要があります。また、社内等で防災意識を高めることも大切です。

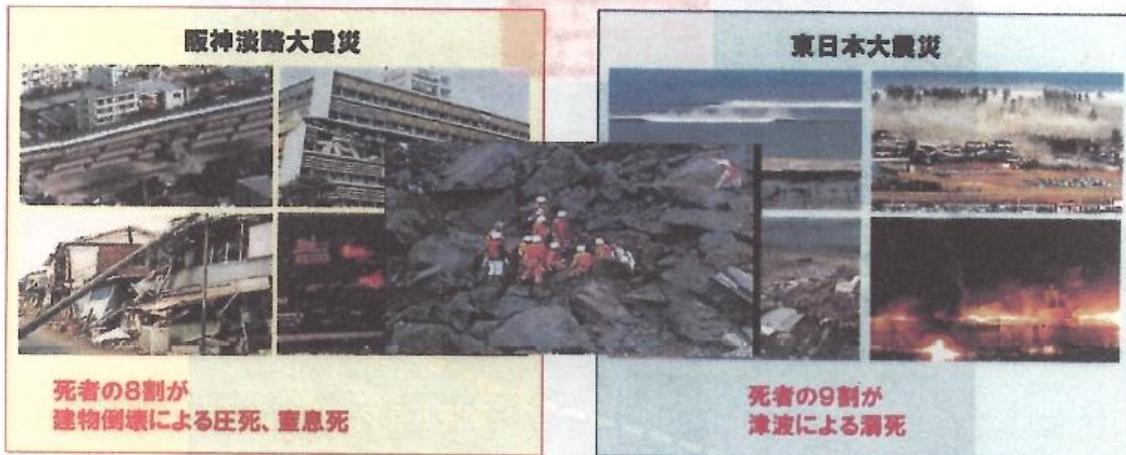
- 従業員と来客者を対象とした避難計画の作成と訓練の実施
- 老人ホームなどの要配慮者利用施設の避難確保計画の作成と訓練の実施
- 防災士の取得



愛媛県における南海トラフ地震の被害想定～もしもに備えて～

南海トラフ巨大地震の特徴

強烈な揺れ + 津波 + 土砂災害



愛媛県地震被害想定調査 概要報告書 (平成 14 年 3 月)

想定地震

名称	内容	マグニチュード
想定地震1	川上・小松断層セグメントが活動して発生する地震	7.6
想定地震2	石鐘一池田・三野断層セグメントが活動して発生する地震	8.0
想定地震3	伊予断層が活動して発生する地震	7.1
想定地震4	伊予灘沖海底活断層が活動して発生する地震	7.8
想定地震5	安政南海地震 (1854) (相田, 1981)	8.4

南海地震による死傷者の想定

		2時					18時				
		死亡	重傷	中等傷	軽傷	負傷計	死亡	重傷	中等傷	軽傷	負傷計
想定地震 1	県合計	2,666	584	2,870	36,945	42,399	2,453	605	2,959	39,242	42,806
	東予計	1,184	226	1,103	15,141	16,470	979	231	1,133	15,420	16,784
	中予計	1,419	300	1,473	20,225	21,998	1,424	314	1,532	20,136	21,982
	南予計	63	58	294	3,579	3,931	50	60	294	3,686	4,040
想定地震 2	県合計	1,719	449	2,222	30,146	32,817	1,477	456	2,234	30,447	33,137
	東予計	1,460	247	1,224	16,779	18,250	1,236	253	1,247	17,127	18,627
	中予計	235	162	793	10,831	11,786	220	161	783	10,697	11,641
	南予計	24	40	205	2,536	2,781	21	42	204	2,623	2,869
想定地震 3	県合計	1,247	420	2,071	27,889	30,380	1,149	416	2,051	27,850	30,317
	東予計	64	88	430	5,919	6,437	53	87	437	6,020	6,544
	中予計	1,096	269	1,330	18,167	19,766	1,022	264	1,304	17,912	19,480
	南予計	87	63	311	3,803	4,177	74	65	310	3,918	4,293
想定地震 4	県合計	876	402	1,979	26,511	28,892	773	402	1,978	26,664	29,044
	東予計	74	95	461	6,367	6,923	61	98	469	6,481	7,048
	中予計	536	210	1,037	14,126	15,373	496	205	1,019	13,937	15,161
	南予計	266	97	481	6,018	6,596	216	99	490	6,246	6,835
想定地震 5	県合計	2,987	642	3,153	42,752	46,547	2,556	648	3,174	43,189	47,011
	東予計	1,158	230	1,122	15,445	16,797	965	233	1,139	15,739	17,111
	中予計	946	256	1,261	17,317	18,834	863	255	1,240	17,076	18,571
	南予計	883	156	770	9,990	10,916	728	160	795	10,374	11,329

想定地震における市町別最大震度

	①南海トラフ	②	②'	③	④	⑤
四国中央市	7	5強	4	7	6強	6弱
新居浜市	7	5強	5弱	7	7	6強
西条市	7	6弱	6強	7	7	6強
上島町	6強					
今治市	6強					
東温市	6強					
松山市	7					
松前町	6強					
久万高原町	6強					
佐田町	7					
伊予市	7					
内子町	6強					
大洲市	7					
八幡浜市	7					
伊方町	7					
西予市	7					
鬼北町	7					
松野町	6強					
宇和島市	7					
愛南町	7					

13市町で最大震度7

四国中央市、新居浜市
西条市、松山市、松前町
伊予市、大洲市、八幡浜市、伊方町、
西予市、鬼北町
宇和島市、愛南町

(南海トラフ巨大地震)

南海トラフ臨時情報ガイドラインについて

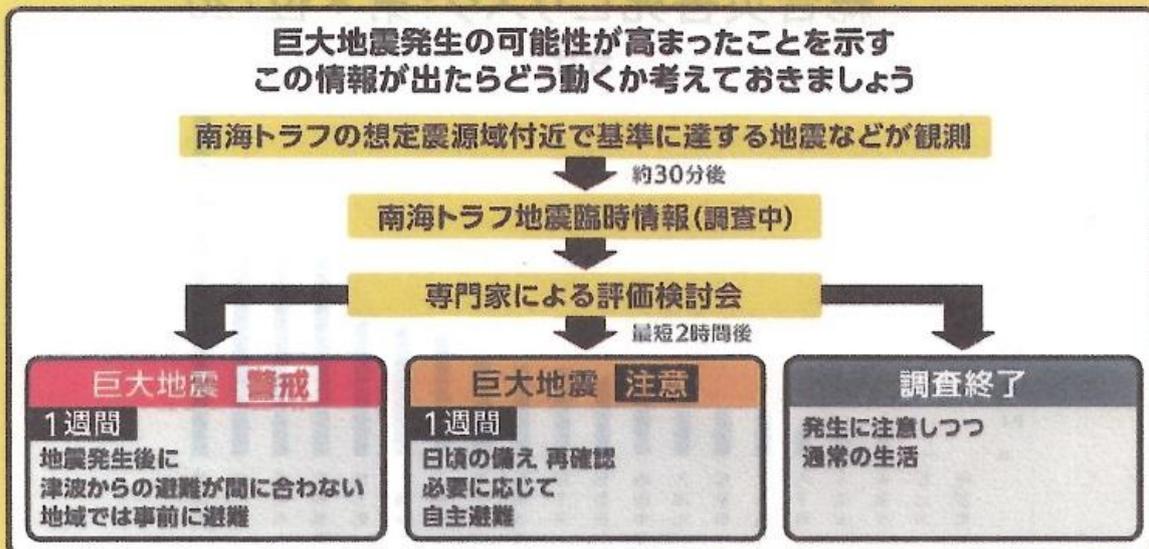
南海トラフ地震の想定震源域付近で異常現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合、そしてその調査結果を発表する場合に、南海トラフ臨時情報が発表される。

南海トラフ沿いの大規模地震 直近の2事例

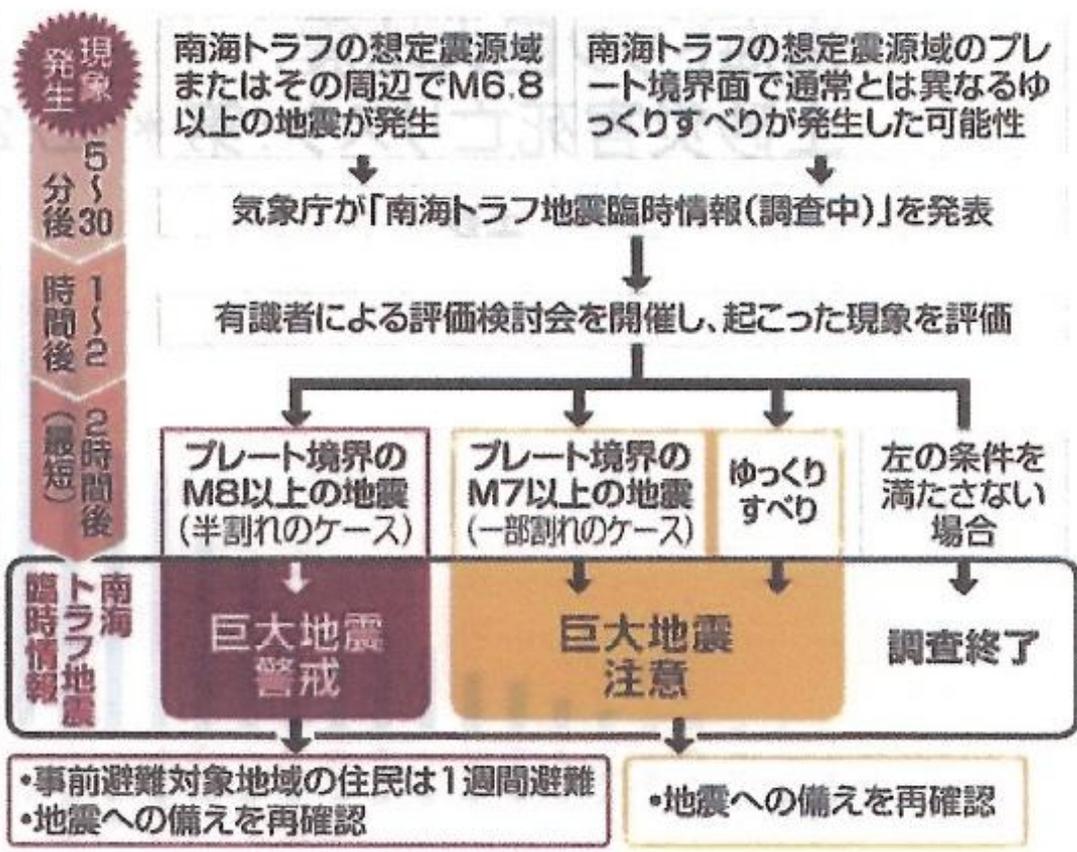
- 1854年安政東海地震 (Mw8.6) の約32時間後に
1854年安政南海地震 (Mw8.7) が発生
- 1944年昭和東南海地震 (Mw8.2) の約2年後に
1946年昭和南海地震 (Mw8.4) が発生



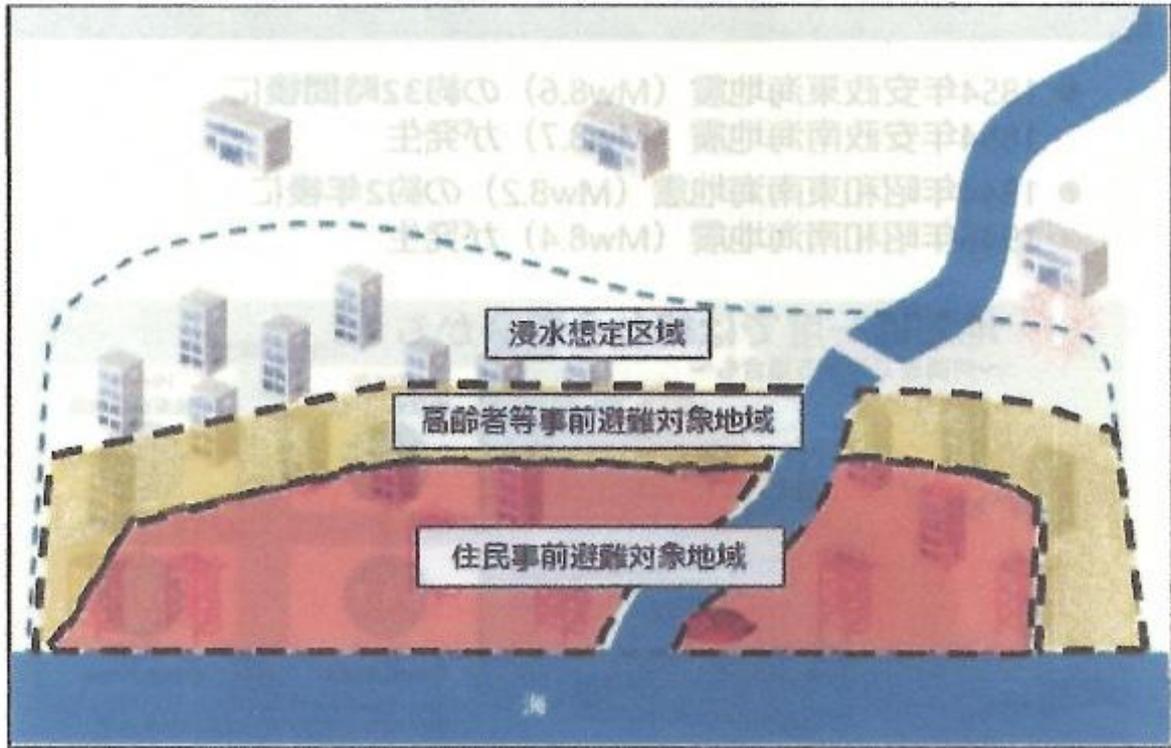
南海トラフ地震臨時情報 どのように



南海トラフ地震臨時情報の発表までの流れとその対応



事前避難対象地域設定

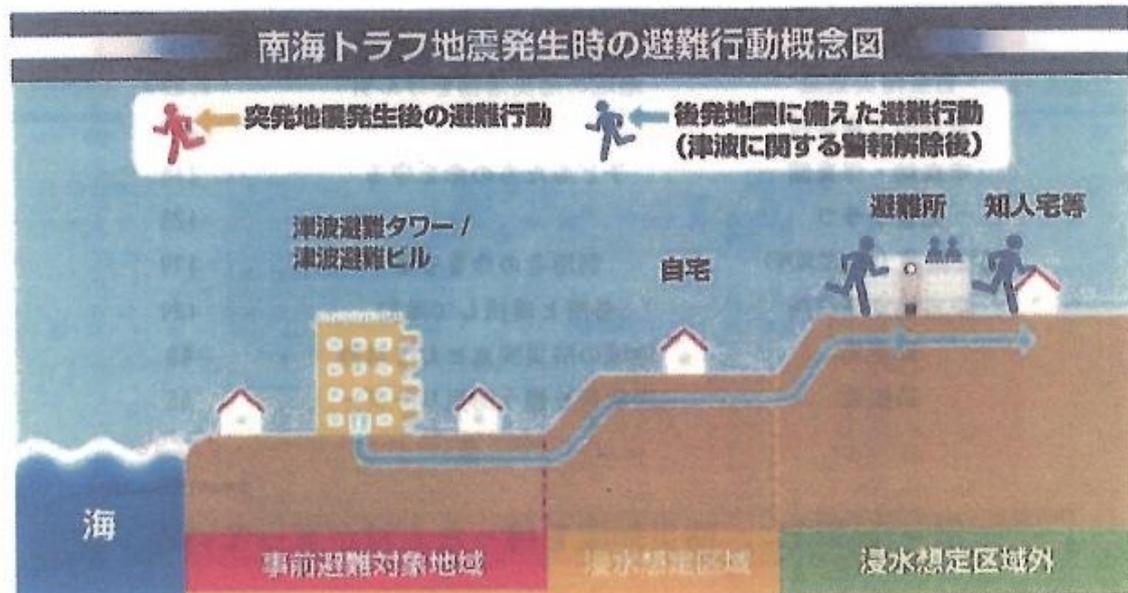


事前避難対象地域設定

事前避難対象地域の種類	事前避難対象者	避難指示等の発令※	県内における地域設定※
高齢者等事前避難対象地域	高齢者などの要配慮者	高齢者等避難	30cm以上の津波浸水が、地震発生から30分以内に生じる地域を基本に各市町村が設定
住民事前避難対象地域	健常者を含む全住民	避難指示	上記のうちから、地域の实情に応じて、各市町村が設定

事前避難対象地域における避難イメージ

南海トラフ地震発生時の避難行動イメージ



愛媛大学の取り組み

愛媛大学公開講座「防災士養成講座」

平成 17 年度より松山市が公費での防災士養成を開始。平成 26 年度からは、愛媛大学公開講座「防災士養成講座」に。

令和 4 年度は 4 回実施し、各回定員 100 名を超える申し込みがあった。資格取得者は年々増加し、松山市の防災士数は 8,098 人に（令和 5 年 1 月 31 日現在）

環境防災学

平成 27 年度に開設。単位と防災士の資格が同時に取得できる「環境防災学」。愛媛大学教員と松山市職員が講師を務め、大学生防災士の養成に協力している。平成 28 年度からは市内 4 大学 2 短大が参加。

若い世代が防災に関心を持つきっかけが生まれている。

大学生防災士を養成し、次世代の担い手を育成→防災リーダークラブにつながっていった。

愛媛大学 防災リーダークラブ

大学生防災士で結成する NPO 団体。地域や学校の防災活動を支援。事務局は愛媛大学。平成 27 年 10 月 21 日 103 名の大学生が参加し活動開始。令和 4 年度までに 1,312 名の防災士が誕生。

<活動内容>

・地域の訓練・研修

地区会議への参加、防災シンポジウム開催支援、防災リーダークラブ研修会の実施、水防工法訓練への参加、マイ・タイムライン研修サポート、地区防災計画の策定支援、地域の運動会で防災種目、DIG 研修の講師

・学校の防災教育

小学校で要配慮者体験、中学校で防災ゲーム、中学校で HUG 指導、ジュニア防災リーダークラブとの活動（防災デイキャンプ、防災マップ作り）

・被災地ボランティア

熊本地震や平成 30 年 7 月豪雨の被災地でボランティアとして活動。それらの体験をもとに、平成 30 年度には大学生向けの「災害ボランティア活動ハンドブック」を作成。大学生の災害ボランティア活動を後押し。

防災リーダークラブの活動による影響

1. 防災による地域の活性化

大学生が関わることで、高齢化した地域防災が活性化している。

2. 次世代を担う若い防災リーダー育成

小中高校生が「防災」に関心を持ち、次世代のリーダー育成につながっている。

3. 多様な視点を持つ人材の成長

異なる背景を持つ人々とふれあうことで、大学生自身も多様性を認め、共に生きる意識を持った人材として成長している。

おわりに

南海トラフ巨大地震防災・減災効果の評価

揺れ対策の徹底・津波早期避難の徹底

建物の耐震化 現状71.4%→100%

家具の転倒・落下防止対策 現状26.2%→100%

津波からの早期避難率 仮定20%→100%

リスク認知と行動につなげる

- 南海トラフ地震に備える（揺れ対策の徹底・水・食べ物・地震火災対策）
- 様々な状況下で命を守る行動をイメージ（種々の訓練の積み重ね）
- 浸水・土砂災害に備える：想定最大ハザードマップ、土砂災害ハザードマップ、マイ・タイムライン、家族タイムライン、地域タイムライン（命を守る避難行動）
- 南海トラフ地震・水被害を想定したBCPの策定と実効性の担保

情報を収集し主体的に判断・行動する

- 気象情報、各種警報、土砂災害警戒情報・土砂災害警戒判定メッシュ情報、河川水位情報、行政の避難情報（高齢者等避難、避難指示）
- 情報を待つのではなく、自ら収集し早めの避難行動を（キキクル）

自助で命を守り、助ける側へ（共助）

【6】東日本大震災 被災地視察研修

日時：令和5年11月24日（金）～11月25日（土）1泊2日

訪問先：宮城県塩釜市、南三陸町

講演 矢部園茶舗 矢部 亨 様

視察 塩釜仲卸市場、塩釜神社、南三陸メモリアル、みやぎ東日本大震災
津波伝承館



講演会

あのとき「東日本大震災」が教えてくれたこと。

地域創生と企業の未来。

～地域と共に生きる～

覚悟。



コロナ禍の令和3年に実施したオンライン視察から2年。東日本大震災から12年が経った令和5年11月、地域防災対策委員会として念願の現地視察研修を行うことができた。我々は宮城県塩釜市を訪ね、そこで矢部園茶舗の矢部亨さんが実際に体験したノンフィクションの出来事をお聞きした。



被災地復旧・復興のその先へ。

街づくり、コミュニティーの復活を目指す。



震災後、矢部さんが店を再開したのは2011年7月31日。

「創業89年目（当時77年目）の我が社は、お客様の応援にお支えいただいていることを、とてつもなく感じました」

更地となっていた塩釜市の中心市街地の復興へ向けて、矢部さんらは海岸通1番2番地区市街地再開発準備組合を2012年6月19日に発足。57人の権利者の協働により約1ヘクタールの街区を復興するための取り組みが始まり、間もなく結実の時を迎えるという。そこまでの道のりは決して平坦なものではなく、850回以上の会議を重ねた末の結果であった。



【矢部さんからのメッセージ】

震災を経験して、わかったことがあります。それは、純粹に誰かを守ってあげたいと思う気持ちが、多くの人々の心の中に宿っているということです。

そして、ほとんどの人々の心には使命感を宿す。つまりは、関わりたい、寄り添いたいという強い気持ちが潜在しているという事実です。

日本は、今後さらに人口が減少していきます。

一人当たりの生産性を上げて、労働力をしっかりと確保していかないと、日本は頭数で世界に負けてしまう。でも世界は「JAPAN」をお手本にしている。世界がジャパンプランドに期待を寄せているのです。若者を応援していく大人たちが、本気で動かなければならない理由…未来を創る鍵がここにあるからではないでしょうか。

みなさんは、この街の子どもたちの背中です。

たったひとりの人間の覚悟が必ずまたひとり人間を動かします。コロナ禍だろうが関係ない。ここにいらっしゃる会社経営者は間違いなくその可能性を持つ尊いひとりなのです。

どんな職業でも、どんな環境に置かれても、何のために誰のために自分の命を使うのか…ということだと思ふのです。

我々には生きている限り無限の可能性がある！

次の人たちに渡していくために最も大切なことは「今の生き方・過ごし方」です。

本当に尊い「よっぽどのご縁」に、心よりの感謝を申し上げます。



2013年 7月撮影



2022年 12月撮影



【まとめ】

矢部さんはとても情熱的に、地域のために復興に尽力されている方という印象を受けた。地元愛を持って行動を興す矢部さんのようなキーマンがいるからこそ、塩釜市の復興、街の再開発は結実したのだろう。矢部さんのリアルなお話をお聞きした上で、見事に復活した塩釜の駅前などを見学させていただいたことでより重みを感じる視察となった。復興はまちづくり。我々もそのキーワードのもと、防災活動を通して地域の活性化にも尽力していきたい。



【8】防災士養成講座の斡旋

愛媛県では、平成23年度から自主防災組織の防災活動の中心的役割を担う人材を養成している。しかし近年、全国的に大規模災害が多発していることや、南海トラフ大地震等の発生が懸念されていることから、さらなる地域防災力の強化を図る必要に迫られている。

そこで、地域に密着している企業・団体職員・社会福祉施設職員への防災士の資格取得を支援するため、県では「令和5年度愛媛県防災士養成講座（企業・団体職員等分）」を開催することとなった。当委員会としては、会員に向けて防災士養成講座を案内。防災士資格を取得することで、企業の防災力向上に役立ててもらうことを目的としている。

令和5年度 愛媛県防災士養成講座

受講者
募集!!

(企業・団体職員等分)

災害による被害を最小限に抑えるためには、地域ぐるみで防災体制を確立していくことが重要です。

県民の防災に対する意識の啓発、知識・技能の習得や向上を図り、地域防災力の向上を目指すため、地域における防災活動の中核的人材となる防災士を養成する「防災士養成講座」について、県内の企業・団体職員、社会福祉施設職員等を対象として開催します。



開催会場	日程	開催場所	定員
東予会場	【第1期】R5.6.15(木)～16(金)	新居浜商工会議所	各100名
	【第2期】R5.7.5(水)～6(木)	西条商工会議所 本所	
中予会場	【第1期】R5.6.6(火)～7(水)	愛媛県武道館	
	【第2期】R5.6.27(火)～28(水)	テクノプラザ愛媛	
	【第3期】R5.7.13(木)～14(金)	愛媛県中予地方局	
南予会場	【第1期】R5.6.20(火)～21(水)	宇和島市総合福祉センター	

県内に在住の方で、次に掲げる企業・団体、社会福祉施設を運営する法人等から推薦を受けた当該企業・団体等に所属する職員。

募集
対象

- 県と災害時応援協定を締結している企業・団体及びその会員企業
- 災害対策基本法による指定公共機関及びその会員となっている企業
- 四国建設業BCP又はえひめ建設業BCPの認定済みの企業
- 防災訓練や防災啓発イベント等への参加実績又は予定がある企業・団体等
- 県内に社会福祉施設を設置している法人 等

費用

12,000円 (防災士教本代 4,000円 (受講決定後負担)
防災士資格取得試験受験料 3,000円 (")
防災士資格認証登録料 5,000円 (試験合格後負担))

※受講料(民間研修機関が実施する場合:約50,000円)が無料。

申込
期限

各会場実施日の2週間前まで

(例)第1期中予会場(6月6日(火)、7日(水)開催)の場合、
受講申し込みの締め切りは5月23日(火)となります。

※上記期限に関わらず、各会場ごとに定員になり次第受付を終了します。

「防災士」は、防災の意識・知識・技能を有する人材を、特定非営利活動法人日本防災士機構が認証する資格です。

県では、今後発生することが想定される「南海トラフ巨大地震」や、全国で近年多発する豪雨による災害に備え、県民の防災意識を高めるために防災士資格取得を促進しており、最近では、災害時に従業員の命を守るとともに、事業継続体制を確保するため、企業や施設の管理部門トップや防災担当者が資格を取得するケースも増えています。

問合せ・申込先

県庁 県民環境部 防災危機管理課 防災訓練係 TEL:089-912-2319
E-mail: bousaikikikanri@pref.ehime.lg.jp

【7】防災カードの普及促進

防災カード公開にあたって

地域防災対策委員会では、講演会や意見交換会、視察研修、アンケート調査などを通じて、会員と関係者の防災意識の啓発と調査研究を進めてきました。その中で、多くの機関が災害対応マニュアルや防災ハンドブックといったものを作成していることが分かりましたが、それらの多くは、様々な情報を詰め込むため、一人ひとりにとっては必要ない情報まで織り込んだ分厚いものが多いことが分かりました。中には、カード型で携帯できるようにしているものもありましたが、逆に情報量が少なすぎたり、更新されないため古い情報のまま年数がたったりしている、といった問題点があることも分かりました。また、同じ目的で開発されたスマートフォン用防災アプリなどは、豊富な最新の情報を携帯できますが、被災時に電源を失うと何も残らないという問題があります。

これらのマニュアル類はどれも一長一短があり、結局のところ使う人によって必要な情報は千差万別であるため、それぞれの企業や生活圏にあうようにカスタマイズできるものがあれば便利ではないかという考えに至りました。さらに、カード型であれば、普段から財布や手帳の中などに携帯しておき、いざという時に必要な情報が取り出せると考え、「各自でカスタマイズできる」防災カードにするため、広く普及しているエクセルを利用することにしました。これを愛媛経済同友会のホームページからダウンロードできるようにし、趣旨に賛同頂ける自治体や団体等からリンクを張ったり、各団体でアレンジされたものを公表して貰ったりして広く普及を進めれば、会員企業に限らず多くの人の役に立てると考え、検討を重ねてまいりました。当初は、巨大地震および津波災害の対応に関する情報のみをまとめたカードを検討していましたが、平成30年に西日本豪雨災害が発生し、豪雨・土砂災害などの対応に関するカードも入れた形で愛媛経済同友会版「防災カード」フォーマットがほぼ完成しました。ところが、令和2年に入り、新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の災害とも言える状況になり、これに関する情報も急遽追加した形で今回の防災カードが完成しました。

この例も示す通り、今般作成した防災カードは、一度作って配布したら終わりではなく、定期的に情報を更新することで、より実効性の高いカードになり、そのカードを持っている人も、より自分にあったカードに更新していくことができるのが最大の特徴です。また本カードには、自宅や職場の標高、避難場所といった情報も記入するようになっており、それらを各自が調べたり、家族で話しあったりすることで、利用する人々の防災意識が更に高まることも期待できます。

今般、定時総会を機に、当ホームページから一般公開する運びとなりましたので、できるだけ多くの方にエクセルファイルをダウンロードして、自由にアレンジして使って頂きたいと思います。そうすることで、この防災カードを利用する個人・団体の防災力が向上し、ひいては地域全体の防災力向上につながる事が我々委員会メンバー全員の願いです。

令和2年5月

愛媛経済同友会 地域防災対策委員会

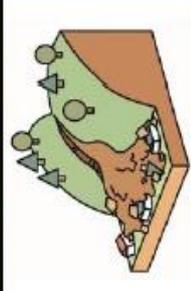
■大雨・洪水警戒レベルと行動

■大雨警報や注意(注意、警戒、危険、発生)情報を聞いて取るべき行動
 ■非難は速き遅れた運動靴で!
 (長靴は水が入って重くなり危険)

警戒レベル	5	緊急安全確保 命の危険 直ちに安全確保!
警戒レベル	4	避難指示 危険な場所から 全員 避難
警戒レベル	3	高齢者等避難 危険な場所から 高齢者等 避難
警戒レベル	2	高齢者等避難 危険な場所から 高齢者等 避難
警戒レベル	1	避難指示 危険な場所から 高齢者等 避難

「避難勧告」は停止され「避難指示」に統一されました

■土砂災害の気配を知る!
 長雨、豪雨から > 土石流
 < 泥水と土砂が速く流れる >
 長雨や集中豪雨で岩や土砂が水と一緒に流れて一気に流れる



- ゴーツツという山鳴りがする。
- 急に川が濁って流木などが流れてに溢ざり始める。
- 土臭いにおいがする。
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる。(上流でせき止められて溜まっている。)

■新型コロナウイルス関連

■避難所での感染症防止対策

- 避難する時は、マスクや体温計、除菌液を持っていく
- 避難所に入るとき、その後も定期的に体温を測る
- 発熱やせき、強いだるさといった症状があったら運営者に知らせる
- 頻繁に手洗い、「密着」回避
- ほかの人と2mほど距離を確保する
- 人と向い合せではなく背を向けて座るようにし、間仕切りを利用する
- 換気を充分行う
- 1~2時間に1回、5~10分程度以上個別スペースの確保
- 感染症状の出た人は個別スペースを確保し、他と動線やトイレを分ける
- 同じ症状がある人同士でも、別室やパーティションなどで区切る

■分散避難

- 安全な場所に住んでいいる親戚や知人などがいければそこに避難

■新型コロナウイルス関連

■家族に感染(の疑い)が出た場合

- 過ごす部屋を分ける
- 出来るだけ一つの部屋から出ない
- 食事は別々の場所とする
- 寝るのも別々にするが、難しい場合はカーテンやついたて等で仕切る
- 看病する人を決める
- マスクと手袋をつけて看病し、使った後は部屋から持ち出さない
- 看病の後には手洗いと除菌する
- こまめに換気をする
- 症状のある人の部屋だけでなく、共用部や他の部屋も定期的に換気
- 手で触れる共用部をこまめに消毒
- ドアノブや手すりなどの共用部分は1日に1回以上除菌液で消毒する
- 洗い物は家族と一緒にでもOK
- 感染者の衣類などを洗濯する場合、家庭用洗剤で洗濯し、完全に乾かす
- ゴミは完全に密閉して捨てる
- 同居家族も外出を避け、健康観察

■災害に備えて…(1)

★車のガソリンは満タン
 ・半分になる前に必ず満タンに。
 災害経験者必要の対策!!

★水・食料の備蓄(1週間分)
 ・飲料水は1人1日2リットル
 ・風呂の水は抜かない(トイレ用)

★家族の集合場所は普段から必ず確認しておく!

★非常持ち出し袋等は、
 持ち出し易い玄関などに!

★携帯の充電方法の確保
 ・停電が続いた場合でも、携帯を充電する方法を準備しておく!

★傘やメガネは自宅以外にも
 ・車の中や職場等に予備を!

■災害に備えて…(2)

★家具類は固定する
 ・震度7では家具が飛んでくるので突っ張り棒等で固定!
 ・避難路となる出入り口付近には家具や大型家電を置かない!

★車のカーテンは固めて巻く
 ・ガラスの割れ一飛散を防止
 ・本来は飛散防止フィルムが理想

★家中電灯は何箇所かに置く
 ・夜中に家のどこで被災しても懐中電灯に手が届くように!

★枕元にはスニーカー
 ・足裏をガラス等で切ると避難生活や災害復旧が困難に!

★ハザードマップはダウロードして携帯に入れておく!

■災害情報検索キーワード

- 愛媛の災害速報
「えひめ force」
- 気象庁防災情報
「気象庁 防災」
- 愛媛の河川・砂防情報
「愛媛 河川 監視」
- 津波情報(NHK)
「NHK 津波情報」
- 道路情報(四国地方整備局)
「四国 道路情報」
- 防災情報・ハザードマップ
「防災マップ 〇〇市」
- AED設置場所
「日本全国AEDマップ」

■悲しくても写真を撮っておく

■片付けに入る前に、まず被災状況の写真を撮る。震災証明、保険の査定、税金の控除等が必要

■外側、室内、あらゆる角度から

■浸水の場合は、床上何cmか?ものさしになるものを添えればベスト

■レシートは何でも取っておく

■応急処置に使ったもののレシート、業者に払った費用の領収書など

■後から公的支援が受けられる場合があり、その時に必要

■電気・水道・電話といった公共料金の領収書は居住の証明になる

■保険会社への連絡

■被災したことを連絡しておく

■保険会社が分からない場合は、日本損害保険協会「自然災害等損保契約照会センター」(フリーダイヤル 0120-501331)に問い合わせ

【最後に】

令和6年元日の能登半島地震の復興を見ている、若者の人口が減少し、活気が失われている地域の再生はなかなか難しいのではないかと感じている。

いつ起こるともわからない南海トラフ大地震に備えて、今一度、私たちの地域に本当に必要な復興の仕方を考える必要があると痛感した。防災だけで考えるのではなく、地域の経済活動、地域創生という観点で備えておくことが大切ではないだろうか。

BCP策定の重要性も叫ばれているが、全ての企業が同じようにできるわけではない。どこまで想定した準備をするのか。地域やその企業が置かれた状況によっても必要な範囲は異なる故、その人なりに備えましょうという姿勢が重要である。

やはり最後は人。防災には自助・共助・公助がある。まずは自分の身は自分で守る自助。次に助け合いの共助。最後に自治体や自衛隊、消防、警察などの公的機関による公助。

公助を待つ間にどこまで持ち堪えられるか、やはり大切なのは人のつながり。そう言ったものを大切にしていけないといけない。

地域の活性化がないと自助・共助・公助も果たせない。今後は防災と地方創生を併せて考えていく必要があるだろう。

愛媛県は15年後には生産人口が今の3分の2になると言われているため、その中で防災をいかに推し進めていくか。愛媛経済同友会は地域を発展させるという共通の目的のもとに動いている団体であるので、委員会を超えた取り組みによって、地域の活性化と防災を共に進めていきたい。

地域防災対策委員会

代表幹事	野本 政孝	(株)サンメディカル	代表取締役会長
〃	山口 普	(株)フジ	代表取締役社長
委員長	福柁 浩司	(株)コーシンコンストラクション	代表取締役
副委員長	一色 亮佑	愛媛ダイハツ販売(株)	代表取締役社長
〃	兵頭 寛昭	大進建設(株)	代表取締役社長
〃	薬師神権祐	星企画(株)	代表取締役社長
〃	渡邊 政富	渡邊建設(株)	代表取締役
委員	青木 敬三	鶴居産業(株)	代表取締役社長
〃	阿部 克彦	愛媛総合警備保障(株)	代表取締役社長
〃	天野 泰佳	アマノコーポレーション(株)	専務取締役
〃	荒木 将司	(有)右京運送	取締役専務
〃	荒木 正美	リンクプランニング(株)	代表取締役
〃	井川 清利	エノキパルプ鉄工(株)	代表取締役
〃	石川 賀代	社会医療法人石川記念会 HITO病院	理事長
〃	石川 秀光	旭調木(株)	代表取締役社長
〃	井上 貴博	(有)アポトライ	社長
〃	井上 光	(株)サインアート・トライ	会長
〃	今井公一郎	(株)雄伸工業	代表取締役
〃	岩本 佳	(株)SSP	代表取締役社長
〃	岩本 透	(株)SSP	代表取締役会長
〃	大木 等	大木商事(株)	社長
〃	岡部 孝	伊予商運(株)	代表取締役
〃	門田 勲	(株)ホーム設備	代表取締役社長
〃	門田 実	(株)門田商店	取締役会長
〃	菊池 泰行	堀田建設(株)	代表取締役社長
〃	菊野 先一	(株)キクノ	代表取締役社長
〃	木村大二郎	ボイラサービスコーポレーション(株)	代表取締役
〃	久米山 章	(株)二神組	常務取締役 経営管理部長
〃	小泉 智治	(株)小泉組	代表取締役
〃	重田 芳文	(株)シゲタ	取締役相談役
〃	高橋 英行	アインス商事(有)	取締役
〃	高松 秀光	高松石油(株)	代表取締役
〃	武井 勝志	(株)SAKAI HOUSE	代表取締役
〃	武内 英治	山陽物産(株)	代表取締役

〃	武智 慧	(株)和光ビルサービス	専務取締役
〃	田野 村男	(株)田野電設	取締役会長
〃	丹 一志	住友共同電力(株)	代表取締役社長
〃	続木 剛	(株)続木鉄工所	代表取締役社長
〃	土居 英雄	(株)愛媛新聞社	代表取締役社長
〃	中河 裕	野村証券(株)松山支店	支店長
〃	永瀬勝太郎	(株)ナガセ	代表取締役
〃	中矢 富夫	大和エンジニアリング(株)	取締役会長
〃	西坂 昭徳	(株)四国メッキ	代表取締役社長
〃	乃万 恭一	(株)日本エイジェント	代表取締役会長
〃	橋本 光儀	(株)テクニカル	取締役会長
〃	花井 秀裕	中予生コンクリート協同組合	顧問理事
〃	檜垣 清隆	檜垣造船(株)	会長
〃	日野 英典	寿商事(株)	代表取締役
〃	藤岡 忠	(株)イープレス	代表取締役
〃	本田 豊	(株)よんやく	代表取締役社長
〃	増田 泰伸	土佐電子工業(株)	代表取締役
〃	三浦 賢俊	(株)三浦商店	代表取締役
〃	道下 義之	(有)道下建設	代表取締役
〃	宮崎好太郎	日本郵便(株) 松山中央郵便局	局長
〃	村上 明周	浜栄港運(株)	代表取締役社長
〃	村上 高志	(株)シンツ	代表取締役社長
〃	明関 利泰	コーエキ(株)	副社長
〃	山辺 利成	(株)友清白蟻	代表取締役
〃	山本 要介	(株)山本精工所	代表取締役副社長
〃	綿崎 賀彦	ルナ物産(株)	代表取締役社長
〃	渡辺 功一	(株)富士造型	代表取締役専務